るんです

かったのに、[illegible]り、何も続かない自[illegible]してることを考え[illegible]、やれが強いんで[illegible]。技レイで感動[illegible]、空雰囲気が好き[illegible]。試風景を見てい[illegible]引きいきますよ」

始めてから2[illegible]よう（4級）になっ[illegible]彼女。れなくなって[illegible]。ビクスに行っ[illegible]もあ〝その頃は、[illegible]なく身体が軽くな[illegible]うこましたけど、[illegible]めとあいさつがあ[illegible]やっ〝ているな〃と[illegible]があ〝ジムだった[illegible]ラ始るだけ、気合[illegible]くいその点、空手[illegible]ろう〃分になります[illegible]

彼女は今の自[illegible]に楽るような感[illegible]いう。何も分からな[illegible]ロキいましたが、[illegible]れてが出てきたの[illegible]は一るんだろうと[illegible]ると、して楽しいんです」

SALIDA［サリダ］ No.2
平成3年9月13日第3種郵便物認可
平成5年1月15日（毎週）金曜日発行
第5巻第2号通巻160号
編集人／田原宏一
発行所／株式会社学生援護会

やってみないと分からない爽快感

全日本護身道
（スポーツチャンバラ）
亀田利恵さん

「最初はＴＶで紹介されているのを見て、気持ち良さそうだな、誰にでもできそうだな、思いっきり相手を叩けたら気持ちがいいだろうな、という単純な考えで始めたんですよ」

と語るのは、スポーツチャンバラを始めて半年という亀田さん。剣道をやっていたこともあって、比較的取り組みやすかったというが、やはり戸惑いはあったとか。

「剣道には、昔ながらの決まりなどがあります。でも、スポーツチャンバラは、どこを狙わなければいけないといった決まりが全くなく、身体の一部に当てれば勝ち。そういう意味では、全くの未経験者のほうがいいかもしれませんし、誰もが簡単にできてしまうスポーツなんです。ただ、ハマって次の段階になると、やっぱり〝武道〃ですね。相手との間合いなど、どうやったら勝てるかという、駆け引きがありますから」

かつては、〝小太刀（こだち）護身道〃と呼ばれていたスポーツチャンバラ。それが、小太刀だけでなく、長剣や槍なども使用するようになって、現在の名称に。とはいえ、それらの道具は強化プラスチックに発砲スチロールを巻いたソフトなもの。しかも、厳しいルールはない。これが、子供からお年寄りまで誰もが楽しめる理由だろう。有朋館道場の柚岡一禎さんが語るように、まさに〝21世紀の剣道〃という感じなのです。

「運動不足やストレスの解消だけでなく、男の人を殴って勝ったときの爽快感は多分やってみないと分からないでしょうね。もしスポーツチャンバラをやっていなかったら、仕事と趣味だけで、違った緊張感も味わえなかったし、身を引き締めることもできなかったでしょう」

小太刀—60cm 長剣—100cm 槍—210cm